

授業改善推進プラン(指導方法の課題分析と具体的な改善計画)

音楽	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展的指導計画
1年	<p>○友だちと一緒に歌うことを楽しんだり、楽曲にあわせて進んで体を動かしたりしていたが、鍵盤ハーモニカの演奏は個人差が出てきている。</p> <p>○リズム打ちが苦手で歌えなくなってしまう子がいる。リズムだけ、歌だけならなんとかできる。</p>	<p>○毎時間少しずつでも、鍵盤ハーモニカを練習し、指使い、音階、タンなどを継続して確認していく。</p> <p>○簡単な曲を選び、繰り返し手拍子と歌を歌う練習をさせる。</p> <p>○友達同士で教え合ったり、個人指導をしたりしながら、少しずつでもできるようになったことを称賛し、苦手意識をなくしていく。</p>	<p>○木琴・カスタネット・すず・トライアングルなど他の楽器も使って、合奏する楽しさを味合わせる。</p> <p>○班ごとに発表会をとり、目標を持たせる。</p>
2年	<p>・全体的には大きな声で歌えるが、個人の声の音量には差が見られた。</p> <p>・鍵盤ハーモニカを苦手とする児童もいるが、全体的には意欲的に練習に取り組む児童が多い。</p>	<p>・声を出す楽しさを感じられるようにさまざまなジャンルの曲に取り組む。</p> <p>・鍵盤ハーモニカは個別指導を行い、苦手意識をもつ児童に演奏する楽しさを味あわせる。</p>	<p>・朝の会や集会等で、日常的に歌う機会を多く設定しみんなで歌う楽しさを感じさせる。また、係の活動としても取り組ませる。</p>
3年	<p>○歌唱においては、歌声に気を付けて歌うことができているが、人前に出て歌うことになると力が出せない。</p> <p>○ソプラノリコーダーにおいては基本的な奏法を、一人一人がしっかりと身に付けることが、できてきている。</p>	<p>○お互いのよさを認め合えるよう、グループ活動等の学習形態を工夫する。発表の場をもうけ、人前の演奏でも自信をもてるようにする。</p> <p>○毎時間一人ずつ短いフレーズを演奏し、自分の音色にさらに関心をもたせる。</p>	<p>○授業の中で、グループでの演奏の発表を計画する。</p> <p>○リコーダー奏者の生演奏を聴く等して、さらによさを味わわせる。</p>
4年	<p>○歌唱や演奏に対する興味、関心があり、意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>○歌唱において表現を工夫したい気持ちはあるが、発声の仕方が身に付いていない児童がいる。</p>	<p>○児童の表現への意欲を大事にしなが、自然で無理のない歌い方で歌えるよう発声の基礎的能力を伸ばしていく。</p>	<p>○友達と進んで関わり、そのよさを認め、よりよい表現を目指すことができるような場をつくる。</p>
5年	<p>○合唱や合奏に対する興味や関心があり、意欲的に取り組む児童が多い。リコーダーでは、音色を工夫して演奏しており、歌唱では自然で無理のない声で歌っている。</p> <p>○歌唱において、歌詞の内容や旋律の感じを児童自身が工夫して表現するまでにはいたっていない</p>	<p>○児童にとって、魅力のある楽曲を選んだり、グループ活動等の学習形態を工夫し、お互いのよさを認め合い高めあえるような学習を展開していく。</p>	<p>○模範のCDを聴いて、歌声や演奏、楽曲にあこがれを持ち、進んで練習をする態度を身に付けさせていく。</p>
6年	<p>○正しい音程やリズムで歌ったり、演奏したりするだけでなく、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌ったり演奏したり出来るような指導の工夫が必要である。</p>	<p>○音楽の要素や仕組みを手がかりとしながら表現を工夫するとともに、歌詞の内容について考える時間をもうけるなどして楽曲についての理解を深める。児童一人一人の発想や表現を大切にしながら表現に生かすようにする。</p>	<p>○模範のCDを聴いたり、演奏を行っているDVDを活用したりする。自分たちの演奏を録音し、皆で聴き合う。</p>